

いわちゃん ポスト

千葉県議会議員

岩井 やすのり



1970 年生まれ 50 歳 専大卒・早大院修了 3 期目現職(印西市・栄町選挙区)

栄町安食台 2-26-23-202 TEL 0476-36-7799 mail@iwai-y.jp

野田市～印西市

千葉北西連絡道路の検討本格化

国、県は、慢性的な渋滞にある国道16号の補完道路として、野田市と印西市を利根川沿いルートで結ぶ千葉北西連絡道路(旧仮称・千葉柏道路)について本格的な検討に入ることを明らかにしました。

●直轄国道 渋滞ワースト1・2位が16号

国道16号は千葉市から東葛北部地域を結ぶ唯一の広域幹線道路であり、首都圏の重要環状道路としても位置付けられています。同路線は上下線合わせ4車線で整備されているものの、内外交通(域内から域外、域外から域内への車両の動き、通過車両)



が特に多く、柏市大青田における交通量は12時間あたりで3万台超と全国屈指の多さ。地域を通過する物流車両の利用が目立ち、大型車混入率は4割にまで上ります。結果、柏市大青田、千葉北インター、穴川インター付近などで渋滞が慢性化。昨年4月に公表された「直轄国道における渋滞ランキング(国交省)」では、全国ワースト1位(穴川インター交差点付近)、2位(呼塚交差点付近)がともに国道16号という、ゆゆしき事態に陥っているのです。

●10年越しの第一歩 国主導での再始動

今年6月に開催された県道路協議会では、第2湾岸道路とともに千葉柏道路が議題に。国道16号には主要渋滞箇所が多数存在し、外環道(三郷南～高谷ジャンクション)、北千葉道路(成田市船形～押畑)の開通後も、国道16号では深刻な渋滞が発生していると指摘。また、昨年の台風19号では、柏市をはじめとする田中調整池内の市道が多数冠水し、並行する国道16号に交通が集中することとなったことも挙げられ、その補完道路として野田市～印西市間の約36キロ区間で想定する、千葉柏道路・利根川沿いルートについての新たな検討の場を立ち上げ、具体的な検討を始めることが決定されました。これまで約10年間、目立った進展がなかった中で、国主導で再始動を図る

県内の千葉市や柏市などを通る国道16号は渋滞が激しく、地域住民や関係企業の活動にも深刻な影響を与えていると聞いています。



そうなんだ。全国屈指の交通量で、直轄国道における渋滞ワースト1・2位はともに国道16号。昨年の台風では並行する道路が多く冠水したためさらに交通が集中し、機能不全に陥ったんだ。



そこで、10年以上も塩漬け状態にあった、野田市と印西市を利根川沿いに結ぶ、千葉北西連絡道路の計画が動き出したというわけなんだ。



関係者とともに早期の実現を働きかけ、市民生活や企業活動を後押ししていきます！



視察費は今回もゼロ～岩井の元年度政務活動費

昨年5月から今年3月までの令和元年度政務活動費(計385万円)。岩井は広報費231.6万円、事務所費78.9万円など計384万円余を支出する一方、視察費の計上は今年もありませんでした。

●県政報告紙の発行に注力、人件費もゼロに

岩井の令和元年度の政務活動費使用額のうち、事務所費の約79万円は事務所家賃(6.4万円×11＝70.4万円)や水道光熱費等に充てたもの。事務費の約53万円は、コピー機リース代や事務所駐車場代等があたります。一方、これまで政務活動補助のための事務所職員の人件費として、年間60万円程度を計上してきましたが、その作業を岩井自身が負担することで、元年度はその支出をゼロとすることができました。

政務活動費の使途のうち最も大きいのが広報費で、6割にあたる231.6万円を支出しています。「いわちゃんポスト」の制作にあたっては、紙面作りを業者委託することなく全て手作りで、知る限り最廉価のプリントパック社にネット注文。結果、A4・両面カラー印刷で1枚あたり1.36円、今回号のB4タブロイドサイズで同3.17円と、相場よりかなり安い費用で発行す

項目	支出(円)	内容
調査研究費	87,051	調査活動に関わるガソリン代、高速道路料金
資料購入費	123,827	政務に関わると認められる書籍購入費など
広報費	2,316,620	HP関連費用、いわちゃんポスト作成費など
事務所費	789,804	事務所家賃、事務所水道光熱費など
事務費	531,049	コピー機リース代、事務所電話代、駐車場代など
人件費	0	政務活動補助のための事務所職員人件費
視察費用	0	視察に関わる旅費(航空券、鉄道運賃など)、宿泊代など
合計	3,848,351	

ることができています。

最後に、「観光旅行化」が問題視されてきた視察費用ですが、元年度もその支出はゼロ。聞き取りの必要から現場を訪れた際等に、現地までのガソリン代、高速料金のみ計上しています。

政務活動費の不当かつ無駄な支出を行わないことはもちろん、その使途について県民のみなさんに積極的に開示してまいります。

●印西市以南ルート開通で道路の交通要所地に
一方、八千代市や佐倉市方面へ向かう「印西市以南のルート」については、未だ構想が固まっています。以南ルートも完成し、県南の木更津市同様の道路交通の要所地となれば、印西、北総地域のさらなる発展が期待されるところ。関係者とともにその実現に向け強く働きかけを行ってまいります。

格好です。なお、「千葉柏道路」と呼ばれてきたこの道路計画は、「千葉北西連絡道路(仮称)」に改められることとなっています。

8月には印西市長をはじめとする関係自治体の首長が国交省等を訪れ、要望書を提出。千葉北西連絡道路の早期事業化や国道16号の渋滞対策を求めています。

将監川の逆流対策が課題 長門川整備を強く要望

印旛沼水や栄町、印西市域の洪水対策として欠かせない長門川の改修事業。9月県議会にて、県は令和3年度からの護岸工事着手を明らかにする一方、岩井は関連して大きな影響を受ける、将監(しょうげん)川の整備を強く要望しました。

●30年度事業化も未だ着工に至らず

県下で甚大な被害をもたらした昨年 10 月の大雨。印旛沼流域の佐倉市では 10 月の観測史上 1 位となる雨量を記録し、印旛沼は堤防満杯に。印旛沼の水位が高い状況が長く続いたため、沼に流入する鹿島川や高崎川では洪水を流すことができず、結果、付近の道路や民家などが広く冠水被害に見舞われる事態となりました。

こうした印旛沼流域の浸水被害を軽減するためには、沼の排水能力の向上が不可欠。長門川は、印旛沼水の利根川への放水河川として位置づけられるところですが、コンクリートの護岸整備はおろか木柵による補強もほとんど行われておらず、とても非常時の大放流に耐えられる状況にありません。

地元自治体である栄町による長年にわたる要望活動が実り、30 年には長門川改修の事業化がなされていますが、実は未だ現場への着手には至っていないのです。

●長門川を段階整備 知事、3年度着工を明言

この 9 月県議会にて早期の着工を求めた岩井に対し、森田知事は印旛沼水の予備排水の運用見直しとともに、長門川の護岸と堤防の整備を進めていくと答弁。早期に効果が発揮されるよう、工事区間約 4.5 キロメートルについて段階的に整備を進める(※4コマまんが参照)とし、堤防工事に先立つ護岸工事について、令和 3 年度から着手することを明らかにしました。



●相対的に低くなる将監川 逆流対策を強く要望

そこで問題となるのが、長門川に流入する関連河川、長門川の逆流対策です。

護岸や堤防の整備を行い、流量の大幅増に耐えられるようにするという事は、長門川の水位がこれより高くなることを意味します。その結果、長門川に注ぐ支川である将監川の水位が相対的に低くなり、大雨時などには長門川水が逆流し、場合によっては周辺地域に浸水被害を招いてしまう恐れさえあるわけです。

一般に本川の洪水が支川に逆流しないようにするためには、合流付近に逆流を防止するための水門建設や、支川に本川並みの護岸、堤防を設けるバック堤などが考えられるところ。9 月県議会では、すでに地元から懸念の声が上がっていることを指摘した上で、これら将監川等の逆流対策について強く要望いたしました。

長門川の整備事業については工期短縮が図られたため、護岸の先行工事は数年程度で完成する見通し。指摘した将監川などの関連河川の水位対策について強く求めてまいります。



国道464号(北千葉道路)の雑木問題 住民から多数の苦情

国道 464 号・北千葉道路沿線に繁茂する雑木、雑草問題。地元自治体である印西市に多くの苦情が寄せられる中、管理者である千葉県に対策の強化を求めました。

●印西市と対応協議の上、県に働きかけ

県北部の骨格を形成する幹線道路である国道 464 号・北千葉道路。近年は千葉NT地区へ大型商業施設、物流倉庫などの進出が続く、同路線の重要度がますます大きくなっているところですが、一方で比例するかのよう



掘割部の雑木、雑草(印西市西の原)



歩道への竹の垂れ下がり(印西市吉高)

木、雑草への苦情の声です。掘割部と呼ばれる、連続的な切土により周囲より低い場所を走る区間では、多くの箇所雑木やツタ系植物が繁茂。印西市原山地区の立体交差点付近では雑草が見通しを妨げ、吉高地区の沿線歩道では竹の垂れ下がりにより歩行者が通行しにくい状態となっているなど、事態は深刻です。

印西市に寄せられた苦情、要望のうち、掘割部などの雑草、雑木に関する対応要望は 4/1 からの 5 か月間で 11 件。他の要望、苦情と比べ目立って多く、さらにそのうちの 6 件

は、視認不良で危険であるなど切迫した内容だと言います。

岩井は印西市を訪れ、副市長、担当部長らと県への対応を協議。昨年に続き 9 月県議会にてこの問題を取り上げ、原山地区、吉高地区などでの早期対応を取り付けたところです。

●太陽光パネル外側部分は、優先順位低いと難色

一方、課題として残るのが 10 キロメートルにわたり設置された太陽光パネルの外側部分。パネル内側部分については、土地を借り受ける事業者が年 1 回の除草作業を行う一方、パネル外側の掘割部道路に隣接する、県土木事務所が管理する部分については、「歩行者が利用することがない箇所」であるため優先順位が低いとし、難色を示しています。

印西市では市全域で景観向上に注力している真っ最中。特に国道 464 号は市の表玄関にあたること思い入れが強く、岩井としても引き続き、太陽光パネル付近を含めた雑木対策を求めてまいります。